

平成 19 年度障害者自立支援調査研究プロジェクト 事業実施報告概要

事業名	新体系ビジネスモデル研究事業
事業目的	新体系へのスムーズな移行の促進を図る
事業概要	<p>2法人で新体系へ移行した過程を振り返り、それぞれの事例をまとめるとともに、「新体系移行施設（旧入所施設）全国実態調査」を行い、移行のキーポイントを検証した。また、2法人でモデル事業を行い新たなサービスの展開を試み、「全国調査」と併せて新体系福祉サービスのベストミックスを検証した。</p>
事業実施結果及び効果	<p>新体系へ移行するまでの経過をまとめるとともに、「就労支援」と「発達障害者」に対するモデル事業を実施した。また、移行した旧知的障害者入所施設の全数調査を行い、合わせて新体系へ移行後の福祉サービスのベストミックスを検証し、報告書にまとめた。この報告書を全国の調査協力施設、関係団体に送付することによって、新体系施設のビジネスモデルの概念化がしやすくなると思われる。</p>
事業主体	<p>〒701-1461 岡山市粟井 2788 社会福祉法人ももぞの学園 TEL : 086-299-0621</p>

平成 19 年度障害者自立支援調査研究プロジェクト 事業実施報告概要

事業名	新体系移行施設（旧入所施設）全国実態調査・研究事業
事業目的	新体系移行の障害者支援施設を調査することによって、入所施設の新体系移行ビジネスモデルを提示する。
事業概要	<p>全国の障害者支援施設 265 ヶ所のうち知的障害者をサービスの対象としている 158 ヶ所に調査票を郵送し、100 ヶ所から回答をいただいた。そのうち旧知的障害児者施設 53 ヶ所の回答を使用し、統計学的に下記の事項を検証した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 移行施設の類型化 ② 移行前後の財務状況 ③ 障害認定区分 平均障害程度 ④ 経過措置者について ⑤ 移行の課題 ⑥ 移行施設経営の安定要因
事業実施結果及び効果	<p>移行施設の類型化を行い、9 つの類型があることを明らかにした。また、報酬等のさまざまな要因を使い新体系移行後の施設のビジネスモデルの成立要因を検証した。類型とこれらの要因を使用して新体系移行施設のビジネスモデルを提起した。</p> <p>移行の課題モデルを統計学的手法により構築し、移行の過程に関する課題を提起した。</p> <p>経営学のバランス・スコアシート理論を移行施設の経営に当てはめ、調査結果より、新体系施設を運営する視点を明らかにし、現状で欠落している視点を指摘した。</p> <p>これらのことはスムーズな新体系移行を行ううえで寄与すると思われる。</p>
事業主体	<p>〒701-1461 岡山市粟井 2788 社会福祉法人ももその学園 TEL : 086-299-0621</p>